

# ちの市議会だより

第23号

2017年11月21日

発行/茅野市議会  
編集/議会広報部会  
〒391-8501  
長野県茅野市塚原二丁目6番1号  
☎ 0266-72-2101  
FAX 0266-73-7936  
<http://www.city.chino.lg.jp/>

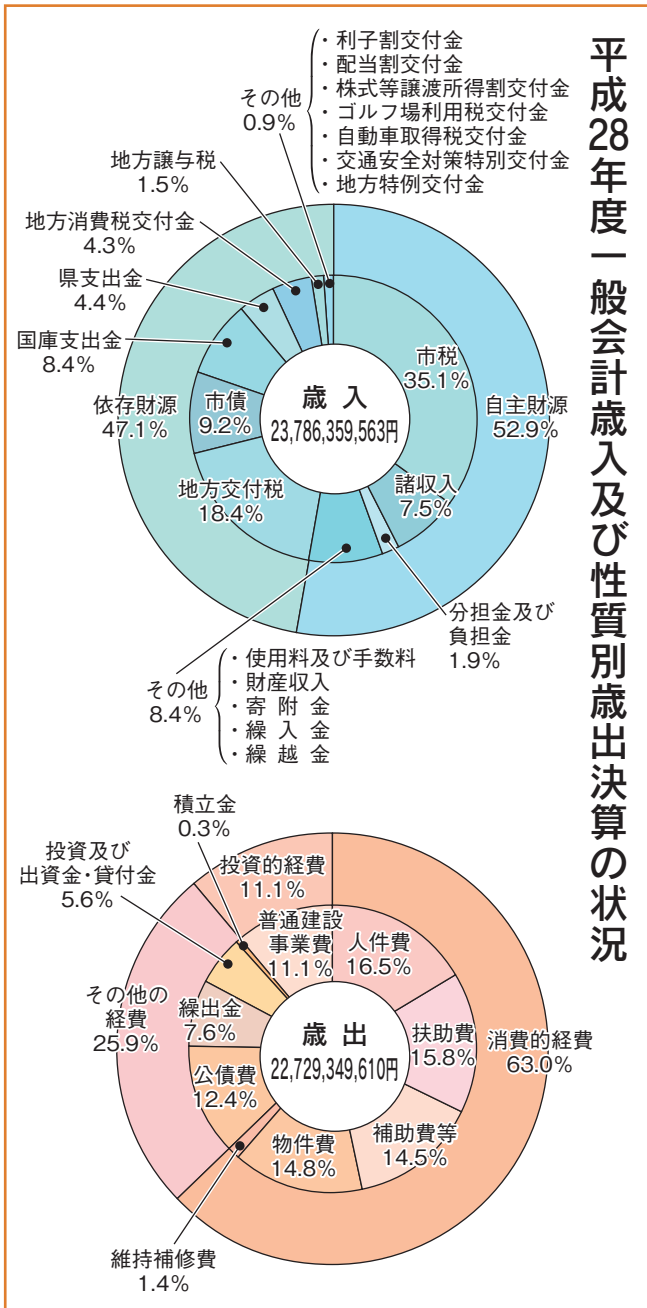
WEBで検索 茅野市議会 検索

目次	
委員会の審査	29
本会議討論	32
陳情議決結果	34
議決結果・賛否一覧	35
一般質問通告一覧	36
議会報告・意見交換会の報告	38
タブレット検討委員会、編集室より	39

## 平成29年度9月定例会（決算議会）

決算審査では、前年度の予算の使い方が適正かつ効果的であったか、いかに事業の成果が上がったかなどを、議会で精査し、改善点の指摘や要望をします。それを市が「今後の予算に活かす」ことにより、決算審査の結果は、今後の予算につながっていきます。

### 平成28年度一般会計歳入及び性質別歳出決算の状況



## 平成28年度 茅野市の決算状況

### 平成28年度茅野市一般会計決算

【歳入決算額】	【歳出決算額】	【実質収支額】
237億	227億	10億
8,636万円	2,935万円	4,006万円
〔前年度に比べて、7億1,916万円、2.9%の減〕	〔前年度に比べて、8億865万円、3.4%の減〕	〔黒字決算〕

#### ■歳入歳出決算額の減少理由

・平成27年度は平成18年度借入れのベルビア地下駐車場等の起債の借り換えがあったので、見かけ上、決算額が大きくなったこと、また、防災行政無線整備事業費が減少したため。



予算決算委員会

平成29年度9月定例会  
のあらまし

茅野市議会9月定例会は、8月30日(水)から9月25日(月)までの会期で開催されました。

補正予算や条例など25議案が審議され、いずれも原案のとおり同意、可決、認定されました。

また、陳情3件が審議され、2件が採択、1件が不採択となりました。意見書案は3件が可決されました。

各議案の一覧及び議決結果は、35ページをご覧ください。

委員会における主な  
議案の審査

予算決算委員会

委員長 北沢 千登勢

議案第47号  
平成29年度茅野市一般会計  
補正予算(第2号)に  
ついて



この議案は、歳入歳出予算の総額に、歳入歳出予算のそれぞれに5045万3千円を追加して、歳入歳出予算の総額を230億3780万9千円とするもの。

主な歳出

・市民館費で、市民館の雨漏りに伴う、今年度実施の漏水調査で原因が特定されたことによる漏水対策及び天井張替工事に1808万円の補正増。  
・国県道整備関連事業費では、平成29年度の県施行工事が確定したことによる茅野市負担金488万7千円の補正増。

議案第49号  
平成28年度茅野市一般会計  
歳入歳出決算の  
認定について



この議案は、平成28年度茅野市一般会計歳入歳出決算の認定を求めらるもの。

平成28年度の歳入決算額は、237億8635万9563円。歳出決算額は、227億2934万9610円。歳入歳出の差し引き残額は、10億5700万9953円。実質収支額は、10億4005万5377円の黒字。

【討論】

●反対意見

「介護福祉金やひとり親家庭への支援金あるいは、心身障害福祉金等も減額のまま、地域創生の美名の下で、商工費の伸びは非常に高い必要でない所に手を挙げている様な姿勢が見受けられる。また、マインバー制度導入は何のためか、誰のためか、よく分らない。それらを指摘して反対。」

●賛成意見

「厳しい税収の中で、身の丈にあった予算編成のとおり遂行され、基金も使わず妥当な決算であるため賛成。」

議案第50号  
平成28年度茅野市国民健康  
保険特別会計歳入歳出決算  
の認定について



平成28年度の歳入決算額は、67億5673万1427円。歳出決算額は、65億2709万532円で歳入歳出差引残額は、2億2964万895円となり、翌年度へ繰り越し。

【討論】

●反対意見

「一般会計から国保への繰り入れは当然のことである。繰り入れがされなかったので反対。」

●賛成意見

「28年度の収支決算は、歳入に対し歳出は3パーセント程度の余裕を残し、何とか健全に保たれているために賛成。」

総務環境委員会

委員長 樋口 敏之

議案第43号  
茅野市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について



この議案は、国家公務員の育児

休業等の制度改正に準じた制度改正を行うためのもの。

**問** 「本件の対象になる可能性はありますか。また、あるとすれば、影響額は。」

**答** 「保育園に入所を申し込んで保育園には入れなかった方が対象となります。茅野市では、現在はそのような状況ではありませんので、対象の職員はいない。」

議案第44号  
茅野市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について



この議案は、市の一般職の職員の人事評価の結果を給与に反映するための規定を整備するためのもの。

**問** 「相対で個人評価をするとのことだが、相当膨大な事務量になると思う。本来の公務員の仕事はこのためではなく市民のサービスが第一優先になると思うが、どう考えるか。」

**答** 「評価に伴い事務量が増えたたくさん抱えている課長、係長は結構な事務量となっているのは現

実の問題となっているが、評価制度は個人が評価したものを上司が評価し、それぞれコミュニケーションを図りながら面接等を通じて組織の活性化、能率化を図って、最終的には市民サービスの向上につなげるというのがそもそも目標で、多少の時間は止むを得ないと考えている。」

**問** 「評価される方が納得し難い評価の場合に、不服申し立て等の制度的位置づけはあるのか。」

**答** 「不服申し立てについては、弁明の機会が設けられており、最終の面談終了後、評価をいただいた後に、結果に不服がある方は総務課長に不服申し立てをして、総務課長と面談し状況の聞き取りにより解決すれば終了するが、解決しなければ人事評価審査委員会で協議を行う。」

**問** 「試行はいつからやっていて、試行の段階では勤勉手当への反映はなかったか。」

**答** 「試行は平成27年度からやっていて、給料への反映はしていない。また平成28年度から本格実施をして、その結果を29年度から反映していくということで実施している。」

## 【討論】

### ●反対意見

「何人かの職員に聞き取りをし、かなりの人が「おかしい、ならばやめてもらいたい。」との声が多かった。説明では住民サービスに還元すると言っているが、職員の事務量が多くなる。今、現に昇格、昇任に差をつけているが、今回はさらにその上乗せをしている。若い方の生活給に差がつくということには首をかしげたい。人事評価によってモチベーションが上がると思わないため、反対。」

### ●賛成意見

「最大の目的は市民サービスの向上であることが一番だと思う。人事評価の具体的内容、規律性、積極性、企画力、決断力等は、社会人としてやっていただきたいし、茅野市の職員はやっている感覚を持っている訳で、そこに対して我々がピリピリしていくということではなく、当然やっていただくべきことをやっていただく、人事評価で優れた人を評価していくことが公務員でも必要だと思うので、賛成。」

## 陳情13

改正組織犯罪処罰法  
(テロ等準備罪)の廃止を  
求める陳情書

### 不採択の意見

「テロ等準備罪をつくること自体は国際社会に準じている国として、国際組織犯罪防止条約に入っていることもやむを得ない。これが成立した段階で、これを廃止とすることは首をかしげるので反対。」

「国民の思想や活動の自由を監視されるといった懸念や、冤罪を生む可能性があるのではないかという心配があるが、生命、財産を優先にし、自由といったものを少し抑えられるといったものはやむを得ない。ただ、それによって冤罪が生まれやすいような施行令など整備、法の補完を期待している。陳情には反対。」

### 採択の意見

「最初は安心安全とか、一般人は関係ないと言いながら、その時の政府の考えにより、特に警察などの国家権力が拡大する恐れがあり、歴史上もそうであった。自分たちはそこに目を向けて、これはおかしいと声を上げるべきと考え、賛成。」

経済建設委員会

委員長 小池 賢保

議案第42号

茅野市コワーキングスペース条例について

可決

この議案は、地域経済の活性化を目的として、新たな経済活動の創出及び育成を図る拠点となる茅野市コワーキングスペースを設置するために定めるもの。



コワーキングスペースイメージ

**問** 「開館時間について、午前10時から良いのか、もっと早く開館してはどうか。」

**答** 「開館時間はベルビアの開館時間に合わせ、午前10時開館としているが、利用者からのニーズに合わせ、そこは検討して行きたい。」

**問** 「利用者の駐車場の確保についてはどう考えているのか。」

**答** 「駐車場については、1台はベルビアの地下駐車場を使用してもらおうが、複数台利用のようなニーズが出ると想定しており2台目以上は料金を払って頂くなどを検討して行きたい。」

**問** 「減免について、学生、特に理科大生については減免しないのか。」

**答** 「減免については、減免事由が確定している訳では無いが、理科大生の利用促進を考え指定管理者と協議し決定して行きたい。」

**問** 「利用料について、1年契約をして前払いをしていた場合、半年で止めた場合、料金はどの様に返すのか。」

**答** 「利用料については、指定管理者と協議をするのですが、基本的には事前に申し出があれば、半年間として、半年分はお返しする。」

**問** 「年間利用について、なぜ1年間なのか。」

**答** 「利用期間を1年間で区切っているのは、市の財務規則で行政財産の使用許可期間が、1年を超えることが出来ないとなつて

いる。」

【討論】

●反対意見

「コワーキングスペースを作ることは大賛成で、この条例の第2条が達せられることを願うが、この条文を読むにつままして、第7条と第11条の整合性が取れていないので納得しかねる。この料金表で全てが賄われているのか不安になる。また、設置者である市としての減免規定がないということ。これらのことからこの条例には反対。」



陳情11

「全国森林環境税の創設に関する意見書採択」に関する陳情について

採択の意見

採択

「茅野市の72パーセントが森林だと言われている。是非これは導入して頂きたいので賛成。」

「国県両方で森林環境の整備促進を進めるためには、このような環境税が必要と考えることから賛成。」  
「基本的に普通の税金で行うのが

良いと思うが、それで進まない以上、明確にその部分を出して行つて、費用を充てて行くと言うことは現状では必要なため、賛成。」

福祉教育委員会

委員長 伊藤 正陽

議案第39号

公の施設の指定管理者の指定について(茅野市民館)

可決

この議案は、地方自治法第244条の2第3項の規定により、茅野市民館の指定管理者を株式会社地域文化創造に指定するためのもの。

指定の期間は、平成30年4月1日から平成35年3月31日まで。

議案第45号

茅野市民館条例の一部を改正する条例について

可決

この議案は、茅野市勤労青少年ホームを廃止し、茅野市民館に統合するため、これに伴い茅野市文化センターの名称を廃止するため、及び茅野市民館の名称を茅野市中央公民館へ変更するためのもの。

**問** 「もつと若い方が利用できるような仕掛けはあるか。」

**答** 「わかもの放課後倶楽部という講座を立ち上げていて、概ね、18歳から35歳ぐらいの方を対象とし、年17回、現在35人ぐらいの方が参加し、活動している。若者の憩いの場、学習の場になればと思い取り組んでいる。」



茅野市勤労青少年ホーム  
現地視察

**問** 「現地調査にて施設に暗いイメージを持った。施設や機器の改修等の検討はしているか。」

**答** 「施設改修、機器等については来年度予算に反映していくよう検討したい。」

**問** 「若者を呼び込むためにも、施設の使用料を建物の老朽に準じて安くできないか。」

**答** 「施設の使用料は使用料審査会において3年に1度諮って決めていて、来年度見直しの年になるため、そこで検討する。」

議案第46号  
茅野市福祉医療費給付金条例の一部を改正する  
条例について

可決

この議案は、子育て支援・少子化対策の推進を目的として、福祉医療費給付金の支給において、現物給付方式で導入するためのもの。

**問** 「レセプト代5000円は受給者負担があるわけだが、負担のない市町村もある。茅野市の方針は。」

**答** 「現行では受給者負担ということでは5000円いただいている。30年度以降についても5000円負担で考えている。社会全体でこの制度を支えていく意味でも制度の運営にかかる経費の一部として受益者にも負担していただく。県の方針についても受益者の5000円負担は継続であるので、そこにも準じていきたい。」

陳情12  
私立高校に対する公費助成を  
願う陳情書

採択

採択の意見

「現実的などころで公立高校に入れないで私立高校に入ると、経済的に苦しい方もいる。教育は平等に受けられる権利であって然るべきだと思うので、本陳情に賛成。」

「子どもたちは未来の宝ものであり、支援したいため、本陳情に賛成。」

本会議における討論

議案第42号  
茅野市コワーキング  
スペース条例について

可決

反対討論

「本条例の条文が、設置目的が反映されているものとは言い難く、条文間の整合性がとれていない。」  
①設置者である市としての利用料金の減免規定がない。②利用料金、利用する日の前には支払わなければならないので、当日支払いでは利用できない規定となつてい

り以外の利用について、無料という規定の条文がない。料金表に無料と明記すべき。④指定管理者に収受させることができるという条文を用いるなら、使用料という用語を用いるべき。⑤収支の予想についての明確な説明がなされていない。事業を始めるに当たり、収支の予想を立てるのは当然。これらの理由から反対。」

賛成討論

「第17条にコワーキングスペースの管理運営について、この条例に定めるもののほか、必要な事項は別に定めるとある。管理指定の制度をとるので、細かい規則等についてはこれから市と管理者との間で進めていただければいいので賛成。」

議案第44号  
茅野市一般職の職員の給与に  
関する条例の一部を  
改正する条例について

可決

反対討論

「人事評価制度を貫けば貫くほど「上司対部下」の関係が強まり、上司の意向を部下が忖度し職務をおこなおうとする傾向が強まりかねない。職員一人ひとりの豊かな発想、それは上司の発想と異なる

かも知れない。市民要望を施策に反映できる道だと考えるが、この点は依然不透明。この条例案は、人事評価を「給与に連結させる」旨が示されている。人事評価は、最終段階では職員を相対評価し、給与への反映は5段階としている。たった一年間の頑張りや失敗が、生涯賃金に反映する仕組みで、不合理。また、この仕組みを28年、29年の職員組合執行部に具体的な説明なしで進めている。職員の合意を作る上から不十分。よって、条例改正には反対。」

●賛成討論

「人事評価制度の導入は職員に優劣をつけるためのものではなく市民サービスを向上させるためのものであると説明を受けた。チーム力を発揮するために、一人一人の職員が職務にどう取り組んできたかを判断する指標を示したものが人事評価。すなわち従来型の感覚的・主観的な評価ではなく、正当性・公平性のある客観的評価を行うための人事評価である。業績・意欲・態度・能力を評価する内容については、的確な指標が示されている。よって、条例改正に賛成。なお、人材を育成するという大きな目的を達するためには運用が重要であ

る。改善する点があれば、柔軟に対応していただきたい。」

陳情13  
改正組織犯罪処罰法  
(テロ等準備罪)の廃止を  
求める陳情書



●反対討論

「防犯と危機管理という視点について国民の安全安心を守ることと国民の自由人権を守ることは表裏一体の関係にある。法律が成立し、国連に条約を締結した状況にあつて、今後は冤罪を生まない法整理と運用の厳格化が求められる。また、6月定例会でテロ等準備罪に関わる意見書が提出され否決された。茅野市議会としては議会の一貫性を尊重し、不採択に賛成。」

●賛成討論

「テロを未然に防いでほしいと願うが、個人ではできず、政府にやってもらいたい。しかし、そのために適切に運用されるか今のところ保証がない。警察からすると、テロを未然に防ぐとなると、どのような方法で探り出すか、こういう方法はダメとは書き込まれていない。一旦この法律を取り下げて、

国家権力の暴走、警察権力の暴走を防ぐ条項を付けくわえる必要があるため、賛成。」

議案第49号  
平成28年度茅野市一般会計  
歳入歳出決算の  
認定について



●反対討論

「公共施設の利用料金に差をつけた検証はない。好景気と言うが「地方消費税交付金」は予算に届かず、消費意欲は戻っていない。実質賃金、年金支給額は下がり、税や自己負担は増え、市民は苦しんでいる。再発行が519件発生したマイナンバー通知は単純に再発行。個人情報特定可能だが、番号変更の打診もない。厳重な管理といえない。市が有望性を謳った千駄刈自然学校とすずらんのは湯は、自立の道が開かず税金の投入が恒久化甘い見込みで負担を増やした反省を強く求める。空き家対策は、具体的な進展はない。防災面では、デジタル防災無線が導入され市民の実証実験では役に立たないという結論が出された。多くの税金を投入した機材の、根本的な改善の検討が進んでいないのは問題だ。以上のことから反対。」

●賛成討論

「平成26年度から予算編成の基本的な方針として基金に頼らない収支均衡予算の編成と基金残高30億円以上の確保を掲げてきた。決算においても、基金からの繰り入れに頼る決算とはならず、基金の年度末残高としても30億円以上を確保し、財政基盤の安定と強化が図られている。ひと・まちプラザ・防災行政無線などハード事業においても市民活動の拠点整備や市民生活の安全安心の基盤の築かれた事業だった。ソフト事業においては、市民生活に欠くことができない各種事業が最適までは言えないが、時代にマッチした事業が、適格に確実に実施されたと思う。身の丈にあった予算に基づく、決算であったことから賛成。」



議案第50号

平成28年度茅野市国民健康  
保険特別会計歳入歳出決算  
の認定について



●反対討論

「一昨年に比べ未納者数は若干減少したものの、未納総額は逆に増え、一人あたりの未納額も増えている。28年度予算案に対し反対討論の中で、苦しい生活を余儀なくされている人が多く加入しているのが国民健康保険であり、払いたくても払えない実態がある。一般会計からの繰り入れを行い、保険税の値下げをすべきと改善を求めたが、改善は図られず、新たな未納者を生み出しているのが実態。給与所得者のほとんどは、定年後は国保に加入することから、国保は一部の人のものではなく茅野市民のもの。日本の国民皆保険制度を支えているのが国保であり、これを維持させるために一般会計からの繰り入れは必要のため、本決算に反対。」

●賛成討論

「国民健康保険加入者に対して、医療費の抑制と健康寿命を延伸することを目的として、特定健康診

査を実施するとともに、生活習慣病の発症予防や重症化予防に関する各種事業を実施するとともに、特定健診の結果により、支援、情報提供を3段階に分け、特定保健指導を実施してきた。また、健康保険税についても、税率を据え置き、加入者の負担を抑えてきたところであり、基金からの繰り入れに關しても最小限の繰り入れに留めている。今後、被保険者が県に移行する過渡期を迎えるが、健全な国民健康保険の運営であったと認め、賛成。」



平成29年9月定例会 陳情 議決結果

番号	表題	趣旨	提出者	採決結果	
				委員会	本会議
陳情11	「全国森林環境税の創設に関する意見書採択」に関する陳情について	山村地域の市町村による森林吸収源対策の推進や、安定した雇用の場の確保などの取組は、地球温暖化防止のみならず、国土の保全や地方創生にもつながる。森林・林業・山村対策の抜本的強化を図るため、国に対し、国民に等しく負担を求めることを基本とする「全国森林環境税」の創設を求めるもの。	全国森林環境税創設促進議員連盟	採 択	採 択
陳情12	私立高校に対する公費助成をお願いする陳情書	平成26年度に「就学支援金」制度が改正され、各家庭の教育費負担は軽減されてきているが、私学に通学する場合、公立に比べ、保護者の学費負担はまだ重い。そのため、国・県に対し、就学支援金制度の拡充及び私学助成の増額等を求めるもの。	中信地区私学助成会推進協議会	採 択	採 択
陳情13	改正組織犯罪処罰法（テロ等準備罪）の廃止を求める陳情書	今年6月15日、国会において「改正組織犯罪処罰法」が成立した。テロ対策に見えるが、中身は一般国民の自由と人権を著しく侵害する恐れのある危険性の高い法案であり、廃止するよう政府に求めるもの。	共謀罪NO！100人委員会 茅野	不採択	不採択

### 9月定例会の議決結果と各議員の賛否一覧

付託委員会 総…総務環境 経…経済建設 福…福祉教育 予…予算決算  
○…賛成 ●…反対 ※議長は採決には加わりません。

番 号	件 名	付託 委員会	議決 結果	松山 孝志	丸茂 岳人	伊藤 正陽	小尾 一郎	長田 近夫	矢島 正恒	両角 秀喜	小松 一平	伊藤 勝	小池 賢保	樋口 敏之	篠原 啓郎	山岸 正衛	望月 克治	宮坂 武男	北沢千 登勢	伊藤 玲子	
40	茅野市等公平委員会委員選任の同意を求めることについて		同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
41	茅野市教育委員会委員任命の同意を求めることについて		同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
39	公の施設の指定管理者の指定について(茅野市民館)	福	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
42	茅野市コワーキングスペース条例について	経	可決	●	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
43	茅野市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について	総	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
44	茅野市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	総	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
45	茅野市公民館条例の一部を改正する条例について	福	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
46	茅野市福祉医療費給付金条例の一部を改正する条例について	福	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
47	平成29年度茅野市一般会計補正予算(第2号)について	予	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
48	平成29年度茅野市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について	予	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
49	平成28年度茅野市一般会計歳入歳出決算の認定について	予	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
50	平成28年度茅野市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	予	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
51	平成28年度茅野市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	予	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
52	平成28年度茅野市墓地事業特別会計歳入歳出決算の認定について	予	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
53	平成28年度茅野市国民健康保険診療所特別会計決算の認定及び剰余金の処分について	予	認定 可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
54	平成28年度茅野市水道事業決算の認定及び剰余金の処分について	予	認定 可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
55	平成28年度茅野市下水道事業決算の認定及び剰余金の処分について	予	認定 可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
56	平成28年度茅野市泉野大日影財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	予	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
57	平成28年度茅野市豊平下菅沢財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	予	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
58	平成28年度茅野市米沢鋳物屋財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	予	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
諮問 1	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて		同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
報 告 7	専決処分の報告について																				
8	債権放棄の報告について																				
9	平成28年度健全化判断比率及び資金不足比率について																				
10	株式会社ベルビアの経営状況について																				
陳 情 11	「全国森林環境税の創設に関する意見書採択」に関する陳情について	経	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12	私立高校に対する公費助成をお願いする陳情書	福	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
13	改正組織犯罪処罰法(テロ等準備罪)の廃止を求める陳情書	総	不採択	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員 提出 議案 20	私立高校に対する公費助成に関する		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
21	「全国森林環境税」の創設に関する		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
22	道路整備事業に係る補助率等の高上げ措置の継続に関する		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議決日は、9月25日の議会最終日(但し、議案第40号、41号、諮問第1号は、8月30日の開会日に即決)



## 茅野市の課題を問う!

平成29年9月定例会の一般質問は、9月8日、11日、12日の3日間行われ、16人の議員から21項目についての質問が市側に出されました。

## 9月定例会一般質問通告一覧

	件名	要旨
矢島正恒	1 小中学校の英語教育の推進と教育環境の整備について	(1) 学習指導要領の改訂に伴う英語教育推進の現状と目指す姿について (2) テレビ会議の本格導入による中一ギャップ軽減や教職員の負担軽減等について
	2 地域防災力の充実について	(1) 区・自治会の防災訓練の状況と今後の支援について (2) 防災リーダーの育成と活躍について (3) 備蓄品の現状と目指す姿について
長田近夫	3 新電力導入について	(1) 市の施設の電気料金の現状について (2) 新電力導入による電気料金の削減可能額について (3) 市の今後の方向性について
	4 肝炎対策について	(1) 肝炎検査の受診状況について (2) 肝炎検査対象者への周知方法について (3) 受診者を増やすための仕組み作りについて
樋口敏之	5 小型無人航空機「ドローン」の運用と防災対策の今後について	(1) 「ドローン」の運用実績について (2) 災害時の「ドローン」の運用方法について (3) これからの「ドローン」の運用体制づくりについて (4) 防災対策の今後について
伊藤玲子	6 超高齢・人口減少社会の施策の強化・展開について	(1) 80-50問題の取組と課題について (2) 在宅介護を充実していくための課題について (3) 認知症対策・介護予防を充実していくための取組について (4) 総合福祉相談拠点機能の充実・強化について (5) パートナースhipによる「福祉でまちづくり」について
宮坂武男	7 道路整備の取組状況と今後の進め方について	(1) 市道鉢巻線の整備進捗状況について (2) 湯川バイパス完工後の国道152号の接続について (3) 市内交通渋滞緩和策の構想道路について (4) 福沢工業団地雇用拡大に伴う市道整備について (5) 高部・安国寺地区歴史環境整備事業と道路整備事業について
北沢千登勢	8 教育行政について	(1) 保育園一日保育士体験を義務化することについて (2) 大規模改修にあわせた園庭の芝生化 (3) 教職員住宅の目的外使用の推進 (4) 茅野市美術館の位置づけ (5) 冊子「茅野市の文化財」の販路拡大について
伊藤勝	9 ビーナチャンネルの今後の方向転換について	(1) どうして早急に結論を出さなければいけないのか (2) どのような形で住民の意見を聞いたのか (3) 他市町村の動向は把握しているのか
	10 国民健康保険について	(1) 国保財政の現状と今後の見通し (2) 医療費軽減のための市の取組 (3) 新制度の施行に際しての市の対応
丸茂岳人	11 茅野市（諏訪地域）の有効求人倍率と雇用状況の現状について	(1) 諏訪圏内企業の有効求人倍率の現状と地方の実態について (2) 理科大生のインターンシップ先の紹介から就職につなげる取組について (3) ふるさとハローワークの利用状況について (4) 生活困窮者自立支援の現状と実績について (5) 配偶者控除見直しを機に、更に女性が働きやすい環境づくりについて (6) 移住希望者が仕事を見つけやすい環境づくりについて

	件名	要旨
望月克治	12 国民健康保険について	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 茅野市の国民健康保険税の10年の推移</li> <li>(2) 長野県滞納整理機構への移管案件の中での件数・滞納額の比率。収めていただいた件数・金額の比率の変化</li> <li>(3) 国保被保険者の高齢者の人数と医療費支出の全体に占める比率の10年の推移</li> <li>(4) 国保被保険者の子ども的人数と市民の子どもに占める割合と医療費支出の全体に占める比率の10年の推移</li> <li>(5) 国保税の予算の立て方と根拠</li> </ul>
小池賢保	13 第5次茅野市総合計画における産業経済戦略について	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 第4次茅野市総合計画における「住みやすい」「働きやすい」「訪れてみたい」まちの総括について</li> <li>(2) 商工業における第4の産業革命、知的財産権利化の支援と茅野・産業振興プラザの強化について</li> <li>(3) 安全・安心な農作物の栽培への支援に係る、農業生産工程管理(GAP)の取組支援について</li> <li>(4) 持続可能な観光について</li> <li>(5) 森林税の活用による地元材の将来について</li> <li>(6) 第5次茅野市総合計画における産業振興ビジョンと産業間連携について</li> </ul>
両角秀喜	14 第5次茅野市総合計画の将来像について	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 第4次総合計画で築き上げてきた成果について</li> <li>(2) 第5次総合計画に求められる役割と責務について</li> <li>(3) 第5次総合計画で築こうとしている目標について</li> </ul>
小松一平	15 茅野市の「働き方改革」について	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 茅野市役所の働き方改革への取組状況は</li> <li>(2) プレミアムフライデーの導入について</li> <li>(3) フレックス勤務、テレワークの導入について</li> <li>(4) 市内企業への働きかけについて</li> </ul>
	16 温泉施設をはじめとした公共施設の使用料改定に係る評価は	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 温泉施設をはじめ、各公共施設の利用状況の推移と評価について</li> <li>(2) 今後の使用料の見直しに対する考え方について</li> </ul>
小尾一郎	17 組合立諏訪中央病院の決算と経営に関する市の見解について	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 組合規約第13条の解釈について</li> <li>(2) 組合の病院事業に対する組織自治体の役割について</li> <li>(3) 平成28年度決算・経営状況の市の見解について</li> <li>(4) 今後の経営見通しに対する市の見解について</li> </ul>
松山孝志	18 園庭の芝生化について	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 茅野市における子どもの体力・運動能力の推移について</li> <li>(2) 芝生化実証実験の結果について</li> <li>(3) その後の芝生化の進展について</li> <li>(4) これからの芝生化計画について</li> </ul>
伊藤正陽	19 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）への速やかな入居について	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 特別養護老人ホーム入所待ち者の現状について</li> <li>(2) 市は特別養護老人ホーム待機者問題をどう考えているか</li> <li>(3) 公立の特別養護老人ホーム建設を進めることについて</li> <li>(4) 退院後も医療行為を必要とするが特別養護老人ホームに入居できない人への市の対応について</li> </ul>
	20 第5次茅野市総合計画案について	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 基本構想で「人口が減少する」とあるが、その原因をどう分析し対応するか</li> <li>(2) 現行の産業振興ビジョンでサービス業はどう扱われているか</li> <li>(3) 商業振興ビジョンをどう総括し第5次総合計画に生かしていくか</li> <li>(4) 商業振興ビジョン策定で、買い物動向調査を実施したらどうか</li> <li>(5) 商業振興ビジョン策定で、「個店」の継承、新規参入をどう展望するか</li> </ul>
篠原啓郎	21 人手不足時代を乗り切る農業政策について	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 農地総面積と各地域の農地区別面積について</li> <li>(2) 農地区別の耕作放棄地や荒廃農地の現状について</li> <li>(3) 地域別の農地転用面積と転用用途の分類について</li> <li>(4) 農業体験を条件とする農家民宿の概要と進捗について</li> <li>(5) 市が進める第5次総合計画での農業振興は、何を目的とし、どんな政策を計画しているかについて</li> </ul>

## 議会報告・意見交換会を開催しました（7月22日）

平成29年7月22日午後6時より、今年度第1回目の議会報告・意見交換会を茅野市役所議会棟にて開催しました。今回の開催案内は広報ちの第21号《2017年5月18日発行》でのお知らせと各地区コミュニティーセンター、市の温泉施設へのポスター掲示及び各地区行政にご協力をいただき回覧板にて行いました。しかしこれだけでは周知が不十分であったせいか参加者が少なく今後の課題となりました。



意見交換は参加者及び議員を三つのグループに分けて行いました。また意見交換のテーマは特に設けず、参加者より自由に意見をいただき、意見に対する現状を議員側から説明させていただきました。

以下にいただいたご意見の一部を紹介しします。（詳細は茅野市ホームページをご覧ください）

《市民からの意見》	《議員からの説明》
市民の参加が少ないが、PRの方法を考えるべきでは。	議会への関心の現状を知るため今回の程度での周知としたが、今後PR等工夫して関心を持ってもらう努力が必要と考えています。
入区者が減ってきており、このままではコミュニティがもたない。行政でもっと指導して欲しい。	区費を払っても払わなくても特に変わりはなく生活できる。国の法律がなく、条例を作っても罰則規定が盛り込めず、効果が期待できない。行政が指導して行かないと難しい問題であることは理解しています。
霧ヶ峰のソーラー問題について、諏訪市の事であるが、災害や水質汚染の影響を受けるのは茅野市であるので何とかしてほしい。	市として対抗できる具体的な方法がない。議員も各々危機意識を持っており、懸念している。活動している団体もあるので、そういうところへの市民の方々の協力も必要ではないかと考えています。
無農薬栽培の名目で水田耕作されているが、畦草は刈られておらず耕作放棄地のように見える。もっとしっかり管理してもらいたいけどどうしたらよいか。	農業委員会に伝え、検討してもらいます。
諏訪東京理科大学の公立化により、大学が学生にとっても地域にとっても魅力ある大学として存続するように希望する。	検討協議会や有識者会議で存続について協議してきています。その結果により議会としても意見や要望を提出していきたいと考えています。
小中学校の統廃合について、諏訪市のように積極的な検討を進めて欲しい。	理事者側は、当面茅野市では小中学校の統廃合は考えていないと議会に回答しています。ただし、今後「市公共施設等総合管理計画」等において、公共施設について協議することが考えられます。

## 「タブレット端末機を導入しました」

タブレット検討委員会委員長 樋口敏之

茅野市議会では、二元代表制の一翼を担う地方議会として地域民主主義の実現を図るべく、平成27年9月小松議長のもと「議会活性化委員会」を設置し、議会改革を進めるための検討を



始めました。議会活性化委員会では、全議員から意見を聴取し、あらゆる面から議会改革についての検討を行い、早期に実現すべき事項の一つとして、「議会へのタブレット端末機の導入」を掲げました。議会では年間を通して膨大な紙の資料が使われます。タブレット端末機を導入することにより、会議の効率化やペーパーレス化など様々な効果が期待されることから、近年全国でも導入を進める自治体議会が増えていきます。

茅野市議会においても、平成28年3月に「タブレット検討委員会」を設置し、議会の活性化、効率化を図るとともに、より開かれた議会を目指すことを目的として、タブレット端末機の導入と活用を検討を行い、平成28年12月からは市所有のタブレット端末機を借用し、議会全員協議会において試行を開始しました。平成29年7月にはタブレット端末機を購入し、本格的な利用が始まり、現在は平成30年3月定例会からのペーパーレス議会本格運用を目指し議会活動の効率化と活用の研究を加速させています。



タブレット端末機



本会議の様子

## 編集室より

一雨ごとに寒さが増し、秋が深まり冬へ一歩ずつ近づいているのを実感する季節となりました。この冊子が配られる頃は山もかなり色づいている頃でしょう。時の流れは年齢を増すことに早くなり、一年という時間は振り返ってみれば瞬き一つの間の様に感じます。限られた時間の中で自身のやるべきことは何か、自問自答の日々が続きます。

今年選挙の秋になりました。政局の混乱は世の常であり、選挙民から見ると嫌気がさすことも多々ですが、選挙は国民に与えられた権利ですので、自分なりの考えをもって投票に行きたいと思えます。

9月定例会は決算議会であり、行政のお金の使い方方を審議しました。また、一般質問においては、それぞれの議員が自身の思いを行政に伝え、更に良い市政運営を求めていきます。議員各々考え方は違いますが、市民生活向上の為に汗をかく気持ちには変わりありません、我々の活動の一部ではあり



りますが、この議会だよりを通して知っていただけでも幸甚です。

議会広報部会 丸茂 岳人